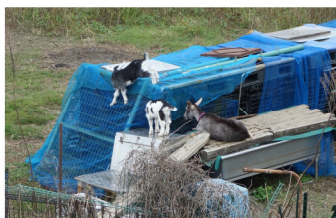


11 月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川：左右岸 6.2km～17.8km 管轄出張所：豊川流域治水出張所
実施日		実施区間	吉田大橋～賀茂橋

11 月になると、堤防の土手の除草がかなり進む。4 月くらいまでは河川敷や川の様子がよく見えるようになる。



豊川付近では私が知る限り 3ヶ所でヤギを飼われている。ここはそのうちの一つ。当古橋左岸のやや下流の河川敷で 4 匹の黒ヤギが飼われている。2 匹はまだこどもで、小屋の壁をすべり台のようにして遊んでいる姿がよく見られる。なんともかわいらしい。



～渡し跡～

豊川には確認されているだけでも 17ヶ所の渡しがあった。私の担当地域（吉田大橋～賀茂橋）でも賀茂、上三上、三上、当古、天王、行明、暮川、そして牛川と 8ヶ所の渡しが確認されている。現在残っているのは 8 月のレポートで紹介した牛川の渡しただけ所である。残りの渡し跡はどうなっているか、今回はそれを紹介してみたい。

○当古の渡し跡

姫街道に位置する当古の渡しは豊川の渡しの中でも重要な渡しであったと思われる。江戸時代には村の庄屋に任せられた中山家が渡しの運営を任されていたそうだ。1934 年、旧当古橋の開通に伴い廃止。現在は渡し自体の跡は見られないが、豊川右岸にある当古橋公園の中に立派な記念碑がある。また、公園には船の形をした遊具が設置されている。渡し跡としては最も整備されている。



○天王の渡し跡

豊川左岸、下条橋から上流に向かう堤防道路の脇の広場に碑が建っている。当古の渡しとは異なり、ここに渡しがあったことと廃止された年月日がただ記されているだけである。よく見ると、まわりの植栽が船の形をしている。



天王の渡しは牛川の渡しと同様、かつては公営の渡しであったが、1978 年下条橋の開通とともに廃止された。数年前までは川岸まで行くことができ、かつての船着き場の形跡を見ることができたが、現在は草が生い茂り岸に近づくことはできない。



2018 年撮影